

中央環境審議会地球環境部会  
部会長 浅野直人 様

2004年4月9日  
気候ネットワーク  
運営委員 平田 仁子

日本エネルギー経済研究所による製造業エネルギー消費の変動要因分析について

4月2日の第16回会合におけるヒアリングで意見を申し上げた際に、資料3-1の図の「原単位の変化」（別紙1参照）について、榊本委員より、「何を何で割ったものか」とのご質問がありましたことにつきまして、回答いたします。

図は、「エネルギー経済統計要覧2004」のP64にある日本エネルギー経済研究所の分析（別紙2参照）を利用し、その90年～2002年の変化をみたものであり、ここで原単位とは、製造業 IIP（Indices of Industrial Production; 鉱工業生産指数）当たりエネルギー消費原単位です。

エネルギー消費を、

各製造部門の IIP あたりエネルギー消費（原単位）、  
製造業全体に占める当該部門の割合（生産割合）、  
製造業生産指数（生産）

の積であらわすこととすると、

エネルギー原単位変化  
生産割合の変化（構造変化）  
生産量変化

に分解でき、分解しきれなかったものは「交絡項」として残るものとなっています。

エネルギー経済統計要覧に結果と簡単な説明がなされていますので別紙2を参照していただきたく存じます。

生産量には経済産業省の発表している生産指数を使っているものと思われませんが、生産指数は主要な製品の生産量を取り出してつくった指数で、価格の上下などを比較的受けにくいものと聞いています。

以上

# 1990-2002年度の製造業のエネルギー消費量の増減要因分析

エネルギー消費量増減 (10<sup>10</sup>kcal)

-15,000 -10,000 -5,000 0 5,000 10,000 15,000 20,000 25,000 30,000

